



- 主な内容
- 1〜3……ゆめをカタチに 平成26年度ゆめづくり協働事業
 - 3……市民活動補償制度、消防団員募集
 - 4……伊賀一ノ井松明調進行事参加者募集

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

蔵持地区まちづくり委員会 災害時のために「防災井戸」有効利用事業



蔵持公民館の敷地内に設置した防災井戸の「蔵清水の井戸」。水量も豊富にあり、災害時に役立てることができる。また、この水を使って育てたサツマイモの収穫祭も実施。ゆめづくり農園や水を使った事業をこれからも検討していく。

平成26年度ゆめづくり協働事業 ゆめをカタチに

◎安全で、安心のできるまちに

蔵持地区まちづくり委員会では、4つの基本構想に基づいた地域ビジョンを作成し、まちづくりを進めています。今年度、ゆめづくり協働事業で実施したのは、基本構想の一つ、安全・安心のできるまちづくり「防災井戸」の有効利用事業です。

大規模災害はいつ起こるか、何が起こるか分かりません。以前、参加した防災講演会で生活していく上で、水の重要性を強く話されたことが心に残っています。「非常事態には水が必要となる。備蓄するのも限界があるなら、自分たちで水を作りだそう」と考えました。

◎蔵清水の井戸は暮らし水

市指定避難場所である蔵持公民館の敷地に井戸を掘ることにしました。30メートル掘ると1分間に200リットルあまりの水を汲み上げることができました。防災井戸は、発電機と手動式でくみ上げることができます。水質検査も定期的に行い、雑菌もなく、飲料水としても使っています。水量が豊富なので、地域内外を問わず有事の際に

市内にある15の地域づくり組織では、地域の将来像をまとめた地域ビジョンを実現するために、地域と市が協働で取り組む、ゆめづくり協働事業を実施しています。

今号では、各地域づくり組織が実施した、平成26年度のゆめづくり協働事業の一部をご紹介します。

◎地域政策室 ☎63・2186

は、使用していただきたいと思えます。この井戸の愛称は、「蔵清水の井戸」。地域住民の皆さんに公募して決めました。愛称には、蔵持のきれいな水、災害時には「暮らしの水」になるという意味が込められています。

もちろん、災害時だけでなく、平常時には、公民館活動での生活用水や少額の管理費を支払ってもらい周辺住民の皆さんの畑の水としても使っています。地域でもこの水でサツマイモの苗を育て、秋には収穫イベントも開催しました。

ここが住民の皆さんのオアシスになるよう、この水を使ってこれからのいろいろな事業を展開したいと夢が膨らみます。



蔵持町原出区長 木村 昌道さん

2〜3ページへ続く

地域づくり代表者会議実践交流会の開催

日時 3月8日(日) 午後1時30分〜5時
場所 子どもセンター(百合が丘西5)

ゆめづくり協働事業や今年度実施した事業内容の発表会【今回発表する地域】

- ▼赤目まちづくり委員会 ▼箕曲地域づくり委員会
- ▼桔梗が丘自治連合協議会 ▼つつじが丘・春日丘自治協議会

